

平成22年3月期 第2四半期決算短信(非連結)

平成21年10月28日

上場会社名 株式会社 エコミック
 コード番号 3802 URL <http://www.ecomic.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長
 四半期報告書提出予定日 平成21年11月12日
 配当支払開始予定日 —

上場取引所 札

(氏名) 熊谷 浩二
 (氏名) 上諏訪 広

TEL 011-742-6295

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|-----|------|------|---|------|---|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 22年3月期第2四半期 | 166 | △0.0 | △8 | — | △8 | — | △6 | — |
| 21年3月期第2四半期 | 167 | — | △8 | — | △7 | — | △6 | — |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 22年3月期第2四半期 | △1,911.14 | — |
| 21年3月期第2四半期 | △1,926.90 | — |

(2) 財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|-----|-----|--------|-----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 22年3月期第2四半期 | 329 | 315 | 95.8 | 94,287.41 |
| 21年3月期 | 374 | 326 | 87.4 | 97,755.99 |

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 315百万円 21年3月期 326百万円

2. 配当の状況

| | 1株当たり配当金 | | | | |
|------------|----------|--------|--------|----------|----------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 21年3月期 | — | — | — | 1,500.00 | 1,500.00 |
| 22年3月期 | — | — | — | — | — |
| 22年3月期(予想) | — | — | — | 2,000.00 | 2,000.00 |

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|-----|-----|------|------|------|------|-------|------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 500 | 3.9 | 73 | 36.0 | 73 | 34.0 | 41 | 41.5 | 12,463.52 |

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|-------------|--------|-------------|--------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 22年3月期第2四半期 | 3,349株 | 21年3月期 | 3,344株 |
| ② 期末自己株式数 | 22年3月期第2四半期 | —株 | 21年3月期 | —株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計期間) | 22年3月期第2四半期 | 3,345株 | 21年3月期第2四半期 | 3,344株 |

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、一部に持ち直しの動きがみられるものの、設備投資は減少、失業率については過去最高の水準になるなど依然として厳しい経営環境が続きました。また、北海道内の経済については、全国的な状況に比べて更に厳しい状態が続いております。

このような経済情勢の中、当業界におきましては、景気低迷の長期化に対する懸念や将来の就労人口の減少を背景として、企業の効率化、省力化への動向は継続しており、今後も事業の再構築の手段としてアウトソーシングのニーズは依然として高まっていくものと考えております。

そのような中で当社は、経営方針にある「お客様への価値あるサービスの提供」として、顧客企業に対し給与計算に係る人材、労働時間等の経営資源をより生産性の高い業務へ転換していただくことによるコストの削減、顧客企業内からの個人情報漏洩への対策等、企業リスクの観点から給与計算アウトソーシングサービスの提案を行ってまいりました。同時に給与計算に付随するシステム開発という付加価値サービスの提案を行ってまいりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間における業績については、売上高は166,968千円（前年同期比0.0%減）、営業損失は8,611千円（前年同期は営業損失8,475千円）、経常損失は8,267千円（前年同期は経常損失7,893千円）、税引前四半期純損失は9,006千円（前年同期は税引前四半期純損失10,717千円）及び四半期純損失は6,392千円（前年同期は四半期純損失6,443千円）となりました。

事業の種類別の業績といたしましては次の通りであります。

ペイロール事業においては、厳しい経営環境の中、テレマーケティング及びセミナー開催などを実施し、新規顧客の獲得に向け積極的な営業活動を行い、月例給与計算業務の新規顧客27社獲得、また、住民税処理業務においては、受託増加により対前年の処理件数を大幅に伸ばすことができたものの、既存顧客の業況悪化等による委託解除や処理単価の減少などにより苦戦を強いられました。その結果、ペイロール事業の売上高は166,968千円（前年同期比0.0%減）となりました。

貸金コンサルティング事業においては、当第2四半期累計期間において取引は発生しておりませんが、今後、給与計算業務及び総務・人事関連業務に関するノウハウをより一層高め、顧客企業に対し高品質なコンサルティングを提供していく方針であります。

2. 財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ44,529千円減少し、329,670千円となりました。これは主に税金の納付等により現金及び預金が42,045千円減少したことによるものであります。

当四半期会計期間末における負債は、前事業年度末に比べ33,402千円減少し、13,901千円となりました。これは主に税金の納付等により未払法人税等が24,609千円減少、未払金が3,833千円減少したことによるものであります。

当四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末に比べ11,127千円減少し、315,768千円となりました。これは主に配当金の支払い及び第2四半期純損失の計上により、利益剰余金が11,408千円減少したことによるものであります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動による支出35,186千円、投資活動による支出2,342千円、財務活動による支出4,516千円により前事業年度末に比べて42,045千円減少し、253,384千円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は35,186千円（前年同期は4,361千円使用）となりました。これは主に法人税等の支払24,585千円及び税引前四半期純損失9,006千円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は2,342千円（前年同期は7,987千円使用）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出1,937千円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は4,516千円（前年同期は4,898千円使用）となりました。これは配当金の支払い4,903千円によるものであります。

3. 業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期（平成21年4月1日～平成22年3月31日）期通期業績予想につきましては、ペイロール事業において、給与計算業務・年末調整業務における新規顧客獲得数の伸び悩み、既存顧客の業容悪化等による委託解除及び処理単価の減少などにより、前回予想数値に対し売上高は下回る見込みであります。

利益面では、業務効率の改善及び作業時間の減などによる労務費の減及び基幹システムのカスタマイズ等設備投資が下期にずれ込んだことによる減価償却費の減、また、販売費及び一般管理費につきましてもコスト削減により、営業利益、経常利益、四半期純利益とも前回予想数値から変更ありません。

また、配当金につきましては、平成21年4月28日に公表させていただきました金額から変更はありません。

なお、将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

平成22年3月期通期業績予想数値の修正（平成21年4月1日～平成22年3月31日）

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|-------------------------|-------|------|------|-------|----------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想（A） | 600 | 73 | 73 | 41 | 12,463.52 |
| 今回修正予想（B） | 500 | 73 | 73 | 41 | 12,463.52 |
| 増減額（B－A） | △100 | － | － | － | － |
| 増減率（％） | △16.7 | － | － | － | － |
| （ご参考）前期実績 （平成21年3月期） | 480 | 53 | 54 | 29 | 8,809.86 |

4. その他

（1）簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

（2）四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

| | 当第2四半期会計期間末 (平成21年9月30日) | 前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日) |
|---------------|-----------------------------|--------------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 253,384 | 295,429 |
| 売掛金 | 26,710 | 28,636 |
| 繰延税金資産 | 7,146 | 3,300 |
| その他 | 3,137 | 1,955 |
| 貸倒引当金 | △80 | △91 |
| 流動資産合計 | 290,298 | 329,231 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 工具、器具及び備品（純額） | 10,080 | 11,905 |
| その他（純額） | 823 | 924 |
| 有形固定資産合計 | 10,904 | 12,830 |
| 無形固定資産 | | |
| ソフトウェア | 8,431 | 11,243 |
| 無形固定資産合計 | 8,431 | 11,243 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 2,073 | 3,006 |
| その他 | 17,961 | 17,888 |
| 投資その他の資産合計 | 20,035 | 20,894 |
| 固定資産合計 | 39,371 | 44,968 |
| 資産合計 | 329,670 | 374,200 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 3,649 | 1,978 |
| 未払金 | 2,381 | 6,214 |
| 未払法人税等 | 1,033 | 25,642 |
| その他 | 6,837 | 13,468 |
| 流動負債合計 | 13,901 | 47,304 |
| 負債合計 | 13,901 | 47,304 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 214,325 | 214,075 |
| 資本剰余金 | 60,565 | 60,425 |
| 利益剰余金 | 41,197 | 52,605 |
| 株主資本合計 | 316,087 | 327,105 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △318 | △209 |
| 評価・換算差額等合計 | △318 | △209 |
| 純資産合計 | 315,768 | 326,896 |
| 負債純資産合計 | 329,670 | 374,200 |

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

| | 前第2四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日) | 当第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日) |
|--------------|---|---|
| 売上高 | 167,033 | 166,968 |
| 売上原価 | 111,074 | 105,367 |
| 売上総利益 | 55,959 | 61,600 |
| 販売費及び一般管理費 | 64,434 | 70,212 |
| 営業損失(△) | △8,475 | △8,611 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 442 | 195 |
| その他 | 167 | 151 |
| 営業外収益合計 | 610 | 346 |
| 営業外費用 | | |
| 株式交付費 | 28 | 2 |
| 営業外費用合計 | 28 | 2 |
| 経常損失(△) | △7,893 | △8,267 |
| 特別利益 | | |
| 貸倒引当金戻入額 | — | 11 |
| 特別利益合計 | — | 11 |
| 特別損失 | | |
| 投資有価証券評価損 | 476 | 750 |
| 訴訟関連損失 | 2,348 | — |
| 特別損失合計 | 2,824 | 750 |
| 税引前四半期純損失(△) | △10,717 | △9,006 |
| 法人税等 | △4,274 | △3,395 |
| 過年度法人税等 | — | 781 |
| 四半期純損失(△) | △6,443 | △6,392 |

（3）四半期キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

| | 前第2四半期累計期間 （自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日） | 当第2四半期累計期間 （自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日） |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税引前四半期純損失（△） | △10,717 | △9,006 |
| 減価償却費 | 5,965 | 6,675 |
| 投資有価証券評価損益（△は益） | 476 | 750 |
| 売上債権の増減額（△は増加） | 1,601 | 1,925 |
| 営業債務の増減額（△は減少） | 16 | 1,670 |
| 未払金の増減額（△は減少） | 1,666 | △3,833 |
| 未払費用の増減額（△は減少） | △209 | △136 |
| 未払消費税等の増減額（△は減少） | △674 | △6,525 |
| その他 | △5,491 | △2,341 |
| 小計 | △7,367 | △10,820 |
| 利息及び配当金の受取額 | 468 | 220 |
| 法人税等の支払額 | △135 | △24,585 |
| 法人税等の還付額 | 2,673 | — |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △4,361 | △35,186 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △4,750 | △1,937 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △1,961 | — |
| 敷金及び保証金の差入による支出 | △1,275 | — |
| その他 | — | △405 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △7,987 | △2,342 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 株式の発行による収入 | — | 387 |
| 配当金の支払額 | △4,898 | △4,903 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △4,898 | △4,516 |
| 現金及び現金同等物の増減額（△は減少） | △17,247 | △42,045 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 243,660 | 295,429 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 226,412 | 253,384 |

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。